



# 青葉の森公園芸術文化ホール イベントレポート

当ホール主催の公演・講座の雰囲気みなさまに発信する「ボランティアライタース」の方によるレポートをお届けします。

## EVENT REPORT

平成 29 年  
6 月 10 日 [土]

「小さい子どもにもよい音楽を生で聴かせたいが、コンサート会場へ連れていけるか心配。」育児経験のある人なら誰もが直面する問題ではないだろうか。ゼクストプラス・アンサンブルによる「らっぱとたいこでコン

出演  
ZEXT BRASS ENSEMBLE  
(ゼクストプラス・アンサンブル)

トランペット 三須 健至	ホルン 石川 善男	ユーフォニアム 染野 真澄
トランペット 壽山 忠身	トロンボーン 嶋田 慎	チューバ 喜名 雅
トランペット 吉川 禎一	トロンボーン 山崎 朋生	ドラムス 高崎 洋平

## ゼクストプラス アンサンブル ZEXT BRASS ENSEMBLE らっぱとたいこで コンサート ～らっぱのなかま だいしゅうごう～



「らっぱとたいこでコンサート」は、そんな悩める親たちにとって良い企画だったと思う。まず、年齢制限なし。しかし決して子供向けのレベルではなく大人も十分楽しめる内容である。また、チケットは一般 1500 円、18 歳以下 500 円、4 歳未満膝上は無料と、とても良心的な値段である。では、小さな子供達は演奏中、どんな反応だったのだろうか？子供達は驚くほど音楽に集中していた。例えば、ジャズの定番、シング・シング・シングが始まったとたんに静かになり、途中のカッコいいソロパートではドラムに釘づけであった。もちろん、時々飽きたり、スヤスヤと眠ってしまったり、立つてリズムをとったり、といういろいろである。大声で泣いたり走り回ったりするのはだめだが、自然な反応は許容され、親は



気が遣いつつもリラックスしているように感じた。親が吹奏楽部出身という人も少なからずいたようで、子どもと共に親もステージを楽しんでいる様子が印象的であった。演奏は 8 人の金管楽器奏者と 1 人のドラマーで構成され、トランペット、トロンボーン、チューバなどそれぞれの楽器の構造と音の出るしくみをわかりやすく説明してくれた。実際に 2 メートルのホースと漏斗を舞台に持ってきて吹いてくれた。すると立派ならっぱの音がして子供達はびっくりしていた。また、ドラムセットは 13 個ほどの太鼓やシンバルなどから成るそう、一人でも大迫力である。コンサートの前後には玄関口ビーで紙芝居も行われ、こちらも親子連れで賑わっていた。また、午後からはメンバーによる楽器クリニックが開催されるそう、学生たちの姿も目立った。ボランティアライタース伊藤 正子

### 舞

台真ん中にドラムセット、その両側に 4 人ずつの金管楽器奏者で、らっぱのなかま だいしゅうごうというサブタイトルのコンサート。

大集合した楽器は、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、ホルン、そしてチューバ。前半はまずは全員で演奏後それぞれの楽器の紹介をしながらその音が生かされた曲が披露されました。

管楽器共通の音の出るしくみをホースとじょうごという身近にあるものでとてもわかりやすく説明してくれました。

休憩後の後半は再び全員が揃って演奏。ここでドラムセットの紹介があり、ドラムの役割



リズムの違いなどを説明してくれました。ジャズのリズムの時にトランペットが途中から加わり、それまでとはちよつと違った雰囲気になってくれました。

楽器の紹介が終わってから全員で演奏しながらも、途中に各楽器のソロパートを入れ、多くの中学・高校の吹奏楽部が演奏する定番曲でおおいに盛り上げてコンサートを締めくくりました。

小さな子供も楽しめるようホール照明が明るくなっていき、楽器説明でも簡単なわかりやすい言葉を使ったり、誰もが楽しめる工夫がなされていたコンサートでした。

ボランティアライタース 朴京淑



写真 / ボランティアカメラマン

田邊 定行  
鈴木 恵治